

河川基金助成事業

「川って楽しいね！」 ～生き物や石について調べてみよう～ 報告書

助成番号：2023 - 7111 - 072

東京都町田市 社会福祉法人龍美 南つくし野保育園

園長 渡邊 知恵

2023 年度

助成番号	助成事業名	施設名				
2023-7111-072	川って楽しいね！ ～生き物や石について調べてみよう～	社会福祉法人龍美 南つくし野保育園				
所在地	東京都町田市	対象河川名	境川水系境川			
対象園児	年長（6人）、年中（6人）、年少（7人）		活動時間	時間		
河川教育の目標	・水辺や川に生息する生き物、川や水を教材とした遊びや体験活動から<u>五感</u>を開き、<u>様々な好奇心</u>や<u>探求心</u>を育む。 ・絵や制作を通して、自ら感じたことを発表する場を設け、<u>豊かな表現力</u>を育む。 ・水あそびや河川で活動する中で、<u>危険に対して察知する力</u>や、<u>自らを守る力</u>を養う。					
子どもに育成したい能力	・自然や生き物を大切にすること ・<u>好奇心</u> ・<u>探求心</u> ・<u>自己表現力</u> ・<u>協同性</u> ・<u>危険に対して察知する力</u> ・<u>判断力</u> ・<u>自らを守る力</u> ・調べたこと、発見したことを<u>発信する力</u>					
評価の観点	環境：川や水に触れ合うことで、自然の恵みや不思議さに気づき、興味を持てたか。 人間関係：生き物や石探しをと協力して行うことで友だちのよさに気づき、互いに認め合いながら、楽しく活動できたか。また、<u>協同</u>することでこれまでできなかったことや苦手なことに<u>挑戦</u>できたか。 表現：感じたこと、考えたこと、調べたことを、<u>豊かな感性</u>で表現できたか。					
学習活動の内容と成果						
【内容】 ・身近な川での水辺の生き物探しや石の観察 ・ふれあい移動水族館 ・江ノ島水族館（年長組お別れ遠足） ・活動後の制作活動 ・大地沢（境川源流）での野外体験活動 ・相模川ふれあい科学館（レインボーグループ秋遠足） ・各活動前の話し合い、ルールの確認 【成果】 ・野外活動では、水辺に住む生き物を見つけたり、川の流れや冷たさを体感したりすることができた。 ・川のジオラマ作りや「石」をテーマにした神輿は、子どもたちが協力して制作したもので、豊かな感性で表現されていた。 ・縦割り保育の中で年長の子どもが年下の子どもにアドバイスをしている姿が多く見られた。						
河川教育を通じて見られた子どもの変容	・初めは、水辺の生き物に触るのは苦手を示していたが、活動しているうちに生き物の<u>生態に興味を持つ</u>子どもが増えた。特に年長児が自分たちで進めていこうと活動や行事に<u>主体的</u>に取り組み、難しいことがあると「じゃあこうしてみよう」と代案を考えるなど、4月当初から大きな成長があった。 ・年長児の姿から年中・年少児が憧れを持ち、<u>挑戦する姿</u>もみられた。 ・石の観察では、場所によって石の色や形が違うことに気づき、<u>更なる探求</u>から「石は火山の噴火によってマグマが冷えて固まったもの」を知ることができ、それをテーマにした神輿づくりに展開された。<u>互いに思いを発信</u>しあい、<u>相手の意見に関心を持つ</u>という変容があった。					
支援者等（複数記入可）						
保護者	外部小学校	外部中学校	外部高校	外部大学	市民団体	専門家等
河川管理者	行政機関、博物館、資料館等	関係団体（漁協、農協）等		企業	その他	
支援の概要	NPO法人いきものふれあい教室 ふれあい移動水族館の職員の方から、当日の安全管理、生き物との触れ合い方の指導					
成果発表	成果作品	発表方法				
	・川のジオラマ ・神輿 ・写真 ・絵	・保育室や廊下に活動写真を展示 ・夏まつりで作品披露 ・壁新聞				
今後の課題・展開						
・境川での生き物探し・石の観察を通しての子どもたち興味の広がり成長につながった一年であった。10の姿をもとに子どもの成長をくみ取り、考えや遊びを尊重していく。心が動かされたことを誰かに伝える、<u>表現する喜び</u>をサポートできるようにしていきたい。 ・次年度以降も川や水に関わる保育が、河川・水環境に広がるよう保育を展開していく。						

キーワードとなる言葉にアンダーラインを引いて下さい。

助成番号	助成事業名	学校名
2023-7111-072	川って楽しいね！ ～生き物や石について調べてみよう～	社会福祉法人龍美 南つくし野保育園



学習活動名： 鉱物への興味

日 付： 4月8日

見られた子どもの姿：絵本コーナーの鉱物の図鑑を「きれい」と眺めている子どもの姿があった。保育環境に石の標本を用意するとグループの子どもたちも次第に石に興味を示していくようになった。

公園などの戸外活動では「宝石は落ちていないかな」と探す姿も見られた。



学習活動名： 鉱物への興味

日 付： 4月18日

見られた子どもの姿：朝のお集りの中で「鉱物は、山や川で採れるかもしれない。」という話が子どもから出された。

「川に石があるかも。行ってみたいな」という意見も出る。新年度が始まって1週間が経ち、グループ年間目標の「みんなと一緒に楽しいグループ」が動き始めた。



学習活動名： 川の石探し

日 付： 4月28日

見られた子どもの姿：お集りで担任が川での注意事項について説明し、ルールについて話した。

その後、境川の河川敷に出向く。

「アメンボがいたよ。」「お魚も泳いでるよ。」

「丸くて平べったい石がたくさんだね。」

コイや小さな水辺の生き物の観察と川の石探しを楽しむなど川での発見をそれぞれが次の活動につなぐきっかけとなった。



学習活動名： 川の石と生き物探し

日 付： 5月30日

見られた子ども姿：前回の川での活動後、鉱物や魚の図鑑でさらに川について調べ、もう一度川に行ってみようという意見が出た。再度、境川河川敷へ。

「どうやったらアメンボを捕まえられるかな。網が必要だ。」

「動きが速くて捕まえられる。足音を立てないようにしよう。」「反対側から挟みうちにしよう。」などお互い協力してアメンボを捕らえることに成功した。



学習活動名：川の生き物

日 付：5月30日

見られた子どもの姿：川から帰ってくるとアメンボが衰弱し、溺れていた。子どもたちは、最初は落ち込んでいたが、「どうしたら飼うことができるのだろう」とみんなで話し合った。

《なぜアメンボは死んでしまった？》

- ・持って帰るとき、揺らし過ぎた。
- ・バケツに水を入れ過ぎた。

《次はどうする？》

- ・もっと水を少なく入れる。
- ・優しく持つ。
- ・捕まえる数を決める。
- ・育て方を調べてみる。



学習活動：川での活動後の制作

日 付：5月31日

見られた子どもの姿：「川を作ってみようよ」とグループの中で粘土あそびが得意な子どもたちが箱と紙粘土を使って、ジオラマ作りが始まった。

絵の具で着色し、護岸の様子や水の流れを表現した作品ができあがった。



学習活動：川での活動後の制作

日 付：6月8日

見られた子どもの姿：河川敷では、宝石は探すことができなかった。「拾えないなら自分で作ってみよう」と結晶の作り方を調べてきた子がいた。

「結晶ってなに？」

早速、調べてきた子どもがみんなの前で塩を使った実験を行った。塩の結晶ができたのを見て、図鑑に載っているような水晶やアメジスなどの結晶ができるのには長い時間がかかることを学ぶことができた。「作ってみよう」という発想に刺激を受ける子どもも出るなど、その後、夏まつりの神輿のテーマに展開していった。



学習活動：夏まつりに向けて神輿の制作

日 付：6月～7月

見られた子どもの姿：グループの5歳児が中心となって夏まつりの神輿づくりを始めた。デザインは『宝石と火山』に決定。鉱物はマグマが冷えて作られるという専門的なことを知り、火山を作成。

そして、火山の周りに散りばめた宝石は、「光らせたい」とライトを使ってみるなど、試行錯誤を繰り返していた。



学習活動：神輿お披露目

日 付：7月8日

見られた子どもの姿：試行錯誤して、仕掛けが盛りだくさんの思いのこもった神輿が完成した。

保護者には、4月からの子どもたちの姿をお便りにして配信した。

夏まつり当日、神輿を担いで園外周を歩く姿は、堂々として自信に満ちていた。保護者アンケートにも神輿の出来ばえや子どもたちの成長ぶりについて多くの感想をいただいた。



学習活動：Nature Factory 東京町田

日 付：7月27日～28日

見られた子どもの姿：年長児は、1泊2日の日程でNature Factory 東京町田の施設で野外活動（お泊まり保育）を体験した。

町田市相原町にある大地沢は谷戸の地形で境川の源泉となっている。

境川の赤ちゃんともいえる場所を散策中にニホンカナヘビ、ヤマアカガエル、ハグロトンボ、シオカラトンボなどがいて自然豊かな水辺を好む生き物について学ぶことができた。



また、自分で作ったバードコールを鳴らして、鳥（ホオジロ等）が音色に反応してくれるのを楽しんだ





学習活動：ふれあい移動水族館

日 付：9月29日

見られた子どもの姿：「カニ、カメ、コイが保育園にやってくる。」と数日前から楽しみにしている姿があった。

「ぎゅっと握るとびっくりしちゃうよ。投げておくとお魚さんたちは痛いね。」など水族館の方から説明も真剣に聞いていた。



学習活動：ふれあい移動水族館

日 付：9月29日

見られた子どもの姿：川では触れることができなかったカニ、カメ、コイを間近で観察した。緊張しながらも少しずつ慣れて手を伸ばしたり、手のひらで遊ばせている様子がみられた。

「甲羅はかたいね。」

「カメの裏側はこうなっているのか。」

「手のひらがくすぐったい。」

「優しく触れたよ。」

「コイっておおきいな。」



学習活動：移動水族館の後の制作活動

日 付：9月29日

見られた子どもの姿：「お魚と仲良くなれた」と嬉しそうに紙粘土でカメやカニを作ったり、クレパスで画用紙に描くなど、思い思いに制作を楽しんでいた。

移動水族館がさらに川や生き物の興味に広がる展開となっていた。



学習活動：秋の遠足について話し合い

日 付：9月中旬～10月上旬

見られた子どもの姿：遠足の行き先は、グループで異なるため、テーブルごとに案を出し合った。

《遠足はどこへ行く？》

- ・「川がいい。」
- ・「お魚がみたい。」
- ・「遊具で遊びたい。」

行き先は、グループ全員が納得するまで1か月話し合った。



学習活動：相模川ふれあい科学館について話し合い

日 付：11月

見られた子どもの姿：遠足の行き先は、相模川ふれあい科学館に決定した。

電車とバスの公共交通機関を利用するため、体力面、安全面について考慮すべきことも多くあったが、子どもたちの思いが強く、最終的に行き先が決まった。



学習活動：相模川ふれあい科学館 アクアリウムさがみはら

日 付：11月14日

見られた子どもの姿：待ちにまつた水族館への遠足。

約100種類の生き物の展示や川原の石のコーナーもあり、展示コーナーでは目が釘付けとなっていた。



注) 写真は校外や学校・教室内での学習活動ごとに添付してください(枚数が多くなくても、また複数ページになってもかまいません。)

様式自由

[学校部門]

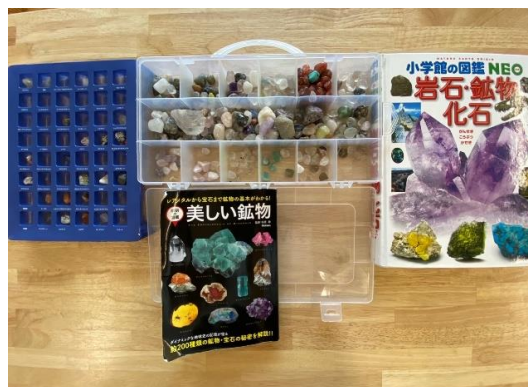
[活動内容紹介資料]

助成番号	助成事業名	学校名
2023-7111-072	川って楽しいね！ ～生き物や石について調べてみよう～	社会福祉法人龍美 南つくし野保育園

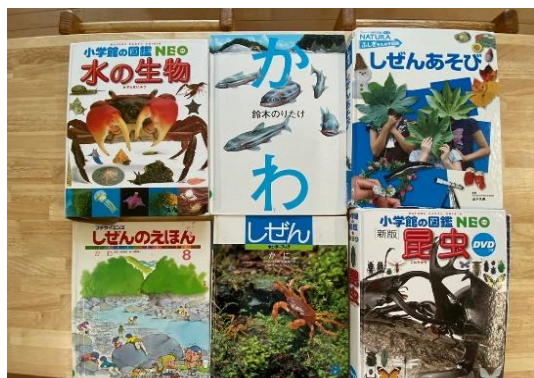
■ 保育室内の環境設定・教材等



保育室内 絵本コーナー①



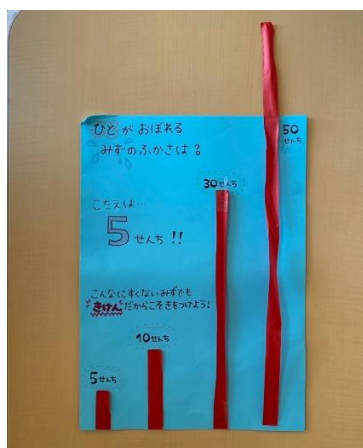
保育室内 絵本コーナー②



保育室内 絵本コーナー③



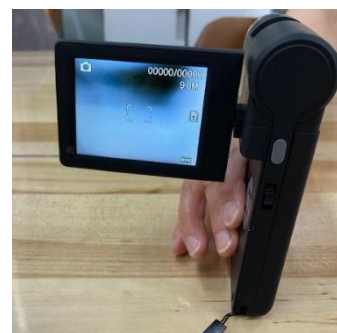
保育室内 絵本コーナー④



安全教育資料（保育室内掲示）



デジタル顕微鏡



デジタル顕微鏡



レインボー



第2号 5月号

やりたいことがたくさん！

鉱物の図鑑から原石に興味を持ち始めました

絵本コーナーにおいてあった鉱物の図鑑をよく女の子が「きれい…」と眺めていました。そこで本物の石が入っている標本を用意すると並べたり触ったりと楽しんでいます。





ピカピカの石だ～

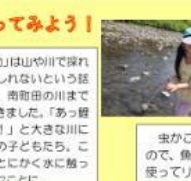
これはどの石かな？

宝石は落ちてないかな～？

川に石があるかも？行ってみよう！

「鉱物」は山や川で採れるかもしれないという話があり、南前田の川まで行ってきました。「あっ蛙がいる！」と大きな川に大興奮の子もたち。この時はとにかく水に触って楽しむことに。

虫かごなどの道具は持って行かなかったため、魚は捕まえず…。みんなで「網を使ってリベンジしたい」となりました。


アサガオ育てたい

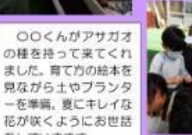
〇〇くんがアサガオの種を持って来てくれました。育て方の絵本を見ながら土やプランターを準備、裏にキレイな花が咲くようにお世話をしていきます。





こいのぼりを見ながら…

〇〇ちゃんの提案でこいのぼりを見ながらこいのぼりパークを食べました。さつき組さんちもどろんどろんたいことを発見してきています。





が作りました



レインボー



第3号 6月号

4月に行った川から見た姿…

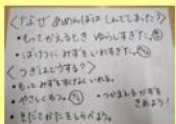




4月に行った時の楽しさや、惜しくも魚を採れなかった悔しい気持ち…もう一回行きたいという声から再度川へ。「どうやら採まられるかな」「網が必要だ！」「準備をしておいてみる」とアメンボを発見します。動きが速くて苦戦する中「足音を立てない」「反対側から挟もうしよう」など子どもたちなりに考え協力し合うことで見事捕まえることに成功しました。

アメンボを頑張って持って帰ったが…

川から帰ってくるとアメンボが衰弱していました。最初は持ち込んでいたが、みんなで振り返り、「持っている時に濡らした」「水の入れ過ぎで濡れちゃった」など様々な意見が出ます。このような体験で生命の大切さを感じている子どもたちです。

夏まつりに向けて

7月の夏まつりでは、さくら組を中心にグループでおみこし作り。どんなものがいいかな…と考えて案を出し合い、少しずつ形になってきています。これからひまわり、さつき組を巻き込みながら、どのように完成するのか楽しみです。



が作りました



☆レインボー☆



第4号 10月号

移動水族館

今年も移動水族館が来てくれました。魚の帽子を被ったお兄さんから「ぎゅ」と握るとびっくりしちゃうよ、投げた置いたらお魚さんたち困るねなどの話を聞いたので、優しく触れる子どもたち。緊張しながらも少しずつ慣れて手を伸ばしたり、紙や紙粘土でカニやカメを制作して「魚と仲良くできた！」と嬉しそうです。これを機に、さらに生き物の興味が広がる面白展開があるかも？！





遠足はどこへ行く？

秋の遠足の話し合いが始まり「川がいい、魚を見たい、道具で遊ぶ」などの様々な意見が出ました。これを踏まえて場所の話し合い中。今後どのように決まっていくか見守っていきましょう！



11月の中旬に遠足を予定しています。日程や持ち物などの詳細は後日手紙を配布する予定です。

丸太切り

本育の丸太切りではさくら組の腕の見せ所。子どもの育より大きな「のこぎり」を使って全力で切る姿に、年下の子たちは手を叩いて応援します。さらに木によって模様や匂いが違うことに気付くなど自然を感じる貴重な体験になりました。




が作りました



レインボーグループ



今年の秋のおこしテーマは「宝石と火山」

宝石ってきれいだな…

4月の初めから、すぐに調べて興味を持てるようにと、絵本コーナーに様々な図鑑を用意していました。中でも鉱物の本をよく見ている子が多く「これきれいだな」とうっとりする姿も。先生が「家にたくさんあったからあげるよ」と結晶や石を持ってきてくれると「すごい！本物だ！」とさらに夢中になっていきました。




おみこしのデザイン相談

そんな中、さくら組で集まり、おみこしの話し合いをする中「今の興味の真ん中にある「宝石！」という答えが、本当に好きなことが増えます」



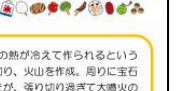

結晶が作れる？

「捨えないなら作ってみよう」と結晶の作り方を調べてきた子がいたので実験開始。結晶は出来ましたが、量は極微量…、驚きを感じました。



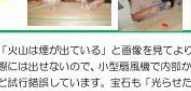

火山は爆発する！

鉱物はマグマの熱が冷えて作られるという専門的なことを知り、火山を作成。周りに宝石をちりばめましたが、張り切り過ぎて大噴火の山に、肝心の宝石が目立たないと気づき、修正をかけます。

3か月経った子どもたちの様子

幼児になったことでの驚きもほくほくのステップへ、一人ひとりの個性が強く、好きなことに没頭するタイプになったレインボーのさつきさん。年上の子がやっていることが気になり「早く、わたしもできるもん」の思いが溢れています。



完成！

☆レインボー☆

第6号 12月期



相模川ふれあい科学館

待ちにまった遠足！電車やバスに揺られて約1時間～疲れも見せず、館内では大興奮。魚の水槽を見たり、えさやり体験やみんなで食べるお弁当などとても充実した時間になりました。その後も思い出さず盛り上がり仲が深まったレインボーグループ、今後の活動にも期待です。



グループ年間目標

「みんなと一緒に」が楽しいグループ
～面白さを共感して深めていこう～

今月のねらい	
4月	グループの仲間を知る。
5月	異年齢での関わりを楽しむ。
6月	友だちがやっていることに興味をもち、参加してみる。
7月	楽しくなるような工夫を考え、想像を形にする。
8月	ひとつのことを友だちと一緒に取り組み、協力していく。
9月	積極的にグループ活動を楽しむ。
10月	互いに思いを発信しあい、相手の意見にも興味を持つ。
11月	みんなで計画して形にしていくなじみを感じる。
12月	みんなで一つのことに取り組み協力していく。
1月	やりたいことを自由に表現し、形にする楽しさを感じる。
2月	自分の好きな遊びを継続させ、発展させていこう。
3月	グループで過ごす時間を大切に、やりたいことを計画して楽しむ。

■ポートフォリオ



助成番号	助成事業名	学校名
2023-7111-072	川って楽しいね！ ～生き物や石について調べてみよう～	社会福祉法人龍美 南つくし野保育園
助成事業の主な実施箇所	鶴間一号橋河川敷（境川下流域）、Nature Factory 東京町田（境川源流）	
	※環境学習を数カ所で行っている場合は、代表的な箇所を2カ所程度記載してください。 ※ダム等の施設を見学した場合は、当該施設の位置図を記入して下さい。 （縮尺は1/50万～1/100万程度） ※活動場所が「子どもの水辺」、「水辺の楽校」に指定されている場合には、指定場所と名称を記載してください。	

